

# ふくし直治 議会報告

FUKUSHI NAOHARU NEWS

2020年  
創刊号

地域に 真っ直ぐな  
政治

聞く

動く

伝える

&lt;発行&gt;ふくし直治 事務所

〒030-1502 青森県東津軽郡今別町大字今別字中沢163-1

## 福士直治 プロフィール

## PROFILE

## 学歴

平成元年 青森県立青森北高等学校卒業(20回生)  
平成5年 東北工業大学土木工学科卒業(23回生)

## 議員歴

平成21年10月～31年3月 今別町議会議員 3期  
平成31年 4月 青森県議会議員 初当選

家族構成 妻と子供2人

## 重点テーマ

1次産業の振興

安心安全な地域づくり

地域医療・福祉の充実

新産業の育成

観光産業による地域活性化

## 聞く・動く・伝える

聞く…私たちの地域に住む人、働く人の思いを直接聞いて政治活動に活かします。  
動く…皆さんの声を受け止め県政に訴え問題解決のために誠意をもって行動します。  
伝える…地域の声は県政へ、県からの声は皆さんへ私が必ず伝えます。

日頃、わたくしの政治活動に対し、ご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

皆様の温かいご支援をいただきまして、青森県議会議員に初当選することが出来ました。あらためて感謝を申し上げます。

私達が暮らす東津軽郡は、少子高齢化をはじめ多くの問題が山積しています。私はこれからも初心を忘れず「聞く・動く・伝える」を政治信条とし、皆さんの声を県政に届けていきたいと思います。県政が皆様にとってより身近なものとなりますように、地域にまっすぐな政治を目指し精進していきたいと思います。



青森県議会議員

福士 直治

## 県議会議員は普段どうしてるの?



県議会議員の活動は大きく分けて本会議、常任委員会、特別委員会、陳情要望等政務活動、それに勉強会や研修セミナー等の研修があります。

本会議は定例会が1年に4回あり、1つの会期は20日前後ですが、予算・決算特別委員会がある9月定例会と2月定例会は会期が30日前後と長期間になります。

私は第299回定例会(9月議会)において初登壇し一般質問をさせていただきました。緊張しまし

たが、地域の課題について思いを込めて質問させていただきました。

私の属する委員会は「総務企画危機管理委員会」「議会改革検討委員会」「新幹線・鉄道問題対策特別委員会」です。常任委員会は月1回の委員会の他、現地視察や研修があります。

県議会議員は提出書類も多く、1期目で不慣れな事もあり議員控室で報告書を書いたり、県庁職員の方と質疑内容の打合せに日々奮闘しています。

## 県議会での 提言

令和元年9月

299回定例会において  
大きく7つの事について一般質問しましたが  
今回は「1次産業の振興」についての  
質問内容を載せたいと思います。



# 01 県産品の販路拡大と認知度向上について

**福士**

ホタテをはじめとした県産品の更なる販路拡大と認知度向上に向けどのように取り組んでいるか。



▲ 青森のプレミアムな食材を配達するwebサイト「A!Premium」

**県**

青森県では「A!プレミアム」という流通システムを構築し、本県産の素晴らしい食材を新鮮なまま、より早くより遠くに届けることが可能となった。そのため県産ホタテを西日本や海外まで活きたまま届けることが可能となり、肉厚で甘い青森ホタテの本物の味の提供が可能となつた。引き続き積極的に活用し認知度向上につなげていきたいと考えている。

## なおはるの想い

青森県は独自の流通システムを構築し、県産品の販路拡大に努力をしてきましたが、今年度が第2次計画策定の年であるため、県産品の更なる販路拡大と認知度向上が必要であると訴え、特に県産ホタテについて県の考えを聞きました。

# 02 ホタテガイ養殖業の振興について

**福士**

ホタテガイ養殖業の安定生産に向けた取り組みを示せ。

**県**

陸奥湾産の養殖ホタテガイは数量・金額とも本県漁業全体の約3割を占める主要魚種となっています。県としては漁業経営が厳しさを増している中で、安定した所得を見込める養殖業を一層推進していく必要があると考えている。漁協ごとの持続可能なホタテガイ生産プランの策定、漁船・機器の共同利用や養殖管理作業の省力化、経費削減を図る協業化のモデル作り、適正養殖可能数量の指導の徹底、県産業技術センターと連携したホタテガイのへい死抑制技術の確立等の取り組みを通じ安定生産を目指していきたい。



## なおはるの想い

青森県の主要県産品である養殖ホタテガイは、近年好調が続いているが過去にはへい死によって大打撃を受けた時期もあったので、県は持続可能な生産体制の確立による漁業者の経営の安定化と自立的発展に向けて取り組む必要性を訴え、県の考えを聞きました。

# 03 ホタテガイ 養殖残さ問題について

福士

ホタテガイ養殖残さ問題についてどのように対応しているか。

県

県産業技術センター水産総合研究所と連携し残さ量を軽減する養殖管理技術を確立し、船上で付着物を除去できるかご洗浄機や残さ堆肥化施設を国の補助事業の導入により整備し処分量の軽減に努めている。今後も漁業者への適正処理の指導、市町村へは地域に適した処理方法の指導・助言を継続し養殖残さの軽減や適正処理に努めて行きたい。



## なおはるの想い

陸奥湾沿岸の市町村で懸案である残さ処分問題の県の対応を、蓬田村の成功例や不法投棄問題を例に挙げ各市町村の費用負担軽減や環境整備の必要性について訴え、県の考えを聞きました。私は陸奥湾沿岸市町村の広域的連携による問題解決が必要だと提案しました。

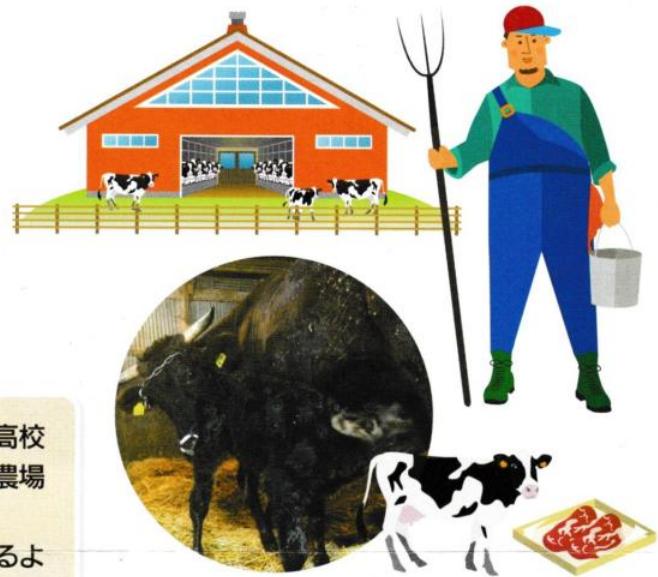
# 04 肉用牛の 振興について

福士

肉用牛の振興について県はどのような取り組みをしているか

県

担い手確保については新規就農候補となる農業高校生には体験型研修会、小学生には出前授業や先進農場の見学会など認知度向上に努めている。また就農希望者が魅力を感じる肉用牛経営となるよう農家にかわって飼育管理を行うヘルパーの需要調査や組織化にあたっての採算性の検証も行っている。生産拡大については繁殖雌牛の導入や畜産クラスター事業を活用した牛舎の整備支援をしている。他県に比べ仔牛の生産効率が低いという課題には繁殖カルテの配布、専門チームによる受胎率向上に向けた栄養管理指導の強化、ICT技術を活用した人工授精や分娩の適期自動通知システムの実証によって事故率の低減や発育の向上に努めている。



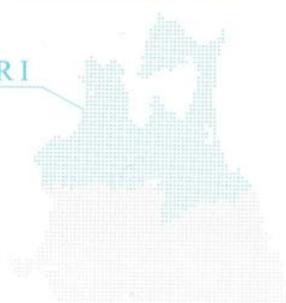
## なおはるの想い

近年、TPP等大型貿易協定による畜産分野への影響が懸念されている中、大規模化が進む一方で農業従事者の高齢化が進み後継者育成が大きな課題であり、次世代の担い手確保と安定生産の重要性を訴え、県の考えを聞きました。

次回は

「安心安全な地域づくり」について  
質問したことを掲載したいと思います。

AOMORI



総務企画危機管理委員会

2019.07.23

災害への備え① 青森県上北郡六ヶ所村

## むつ小川原国家石油備蓄基地

緊急時における石油の安定供給確保を目的とした石油備蓄基地で、約73万坪の広大な敷地内に巨大なタンクが51基、490万キロリットルの重油が備蓄されています。

現地では石油備蓄基地の役割や仕組みを詳細に説明していただき、危機管理の重要性を再認識できました。



総務企画危機管理委員会

2019.08.28

地域の食と観光情報発信 青森県南津軽郡藤崎町

## 藤崎食彩テラス

2018年4月にオープンした「ふじさき食彩テラス」は国道7号線沿いの好立地で、地域の農産物直売のほか、ビュッフェスタイルのレストランや観光案内所を備え、買い物・食事・観光も楽しめる藤崎町の拠点施設でした。地元の特色を生かした販売戦略やPR活動を展開しており地域づくりを学ばせていただきました。



総務企画危機管理委員会

2019.08.28

災害への備え② 青森県青森市 青森空港内

## 青森県防災航空センター

青森空港敷地内に設置され、県消防防災ヘリコプター「しらかみ」を運用しています。救急・救助・消防活動が主な任務です。今回は運航管理、現地活動内容等を説明していました。24時間体制で県民の安心安全を守っていることが良くわかりました。



総務企画危機管理委員会

2019.09.12

新幹線の安全管理 北海道亀田郡七飯町

## JR北海道函館新幹線総合車両所

北海道新幹線の日常的検査や清掃の他、大規模検査と修繕も行える総合車両基地で10両編成の新幹線が4線(40両分)そのまま入る検査場は圧巻でした。定期的にネジ1本まで分解して検査するJR北海道の安全意識の高さは安全運行に対するプライドさえ感じました。



## ふくし直治新春の集いの開催報告

令和2年 1月18日(土) 11:00～ ダイヤモンドホール木戸  
16:00～ 今別荒馬活性化センター

令和2年 1月19日(日) 16:00～ 平内勤労青少年ホーム

県政報告会を兼ね新春の集いを開催します。当日は皆様の貴重なご意見を伺いたいと思います。

なお、県政報告会は議会活動の報告と皆様の県政に対するご意見を伺う機会として定期的に開催していきたいと考えています。

## 編集後記

最後まで読んでいただきありがとうございます。

今回やっと第1回の県政報告誌を発行することが出来ました。

もっと早く発行するはずでしたが、一般質問の内容を載せたかったので遅くなってしまいました。また、紙面の関係で掲載できなかったものについては次回載せたいと思いますので楽しみにしていてください。今後も地域の皆様に寄り添い「聞く・動く・伝える」を忘れず政治活動をしていきたいと思いますので、今後も皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願いします。

